

6月の経済指標発表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/2 1-3月期法人企業統計(8:50) 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) (米)5月ISM製造業景気指数 (米)4月建設支出 (米)5月自動車販売台数 (欧・独・仏)5月製造業PMI(確) (英)5月製造業PMI	3 5月マネタリーベース(8:50) 4月毎月勤労統計(10:30) (米)4月製造業受注 (豪州)金融政策決定会合	4 (米)4月貿易収支 (米)ページブック (米)5月ISM非製造業指数 (欧・独・仏)5月サービスPMI(確) (欧)1-3月期GDP(改) (豪州)1-3月期GDP	5 (欧)4月小売売上高 (欧)ECB理事会 (独)4月製造業受注 (英)BOE金融政策決定会合 (韓国)1-3月期GDP(改)	6 4月景気動向指数(14:00) 4月家計消費状況調査(14:00) (米)5月雇用統計 (米)4月消費者信用残高 (独)4月貿易収支 (独)4月製造業生産 (仏)4月貿易収支 (英)4月貿易収支
9 1-3月期GDP2次速報(8:50) 4月国際収支(8:50) 5月貸出・預金動向(8:50) 4月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 5月消費動向調査(14:00) 5月景気ウォッチャー調査	10 5月マネーストック(8:50) 4月第3次産業活動指数(8:50) (米)4月卸売在庫 (仏)4月製造業生産 (英)4月製造業生産 (ルノ)1-3月期GDP	11 5月企業物価(8:50) 4-6月期法人企業景気予測調査(8:50) (米)5月財政収支 (英)5月失業率	12 4月機械受注統計(8:50) 金融政策決定会合(～13日) ※6月月例経済報告 (米)5月小売売上高 (米)5月輸入物価 (米)4月企業在庫 (欧)4月製造業生産 (欧)ECB月報 (仏)5月消費者物価 (ニュージー)金融政策決定会合 (韓国)金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策決定会合	13 4月製造業指数・確(13:30) 4月商業販売統計・確(13:30) 日銀総裁定例記者会見 (米)5月生産者物価 (米)6月シカン大消費者センチ(速) (欧)4月貿易収支 (独)5月消費者物価(確)
16 6月金融経済月報(14:00) (米)5月製造業生産 (米)6月NY連銀指数 (米)6月NAHB住宅市場指数 (欧)5月消費者物価(確) ※(インド)金融政策委員会	17 4月建設総合統計(14:00) (米)5月消費者物価 (米)5月住宅着工件数 (独)6月ZEW景況指数 (英)5月消費者物価	18 金融政策決定会合議事要旨(5月20,21日分)(8:50) 5月貿易統計(8:50) 1-3月期資金循環(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) ※5月全国百貨店売上高(14:30) (米)FOMC (欧)4月建設支出 (英)金融政策決定会合議事録	19 6月ロイター短観(8:30) 4月全産業活動指数(13:30) 4月景気動向指数改訂(14:00) ※5月チェーンストア販売統計(14:00) (米)6月フィラ連銀指数 (米)5月景気先行指数 (英)5月小売売上高 (フィリピン)金融政策委員会	20 5月コンビニエンスストア統計(16:00)
23 (米)5月中古住宅販売件数 (欧・独・仏)6月製造業PMI(速) (欧・独・仏)6月サービスPMI(速) ※(英)6月ネーションワイド住宅価格	24 (米)6月CB消費者信頼感指数 (米)4月S&Pケース・シラー住宅価格 (米)4月FHFA住宅価格指数 (米)5月新築住宅販売件数 (独)6月Ifo景況指数 (ルノ)金融政策決定会合 ※(ベトナム)4-6月期GDP	25 5月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)5月耐久財受注 (米)1-3月期GDP(確) (仏)6月INSEE企業景況感 (台湾)金融政策決定会合	26 (米)5月個人所得・消費	27 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月商業販売統計(8:50) 5月投入・産出物価指数(8:50) (米)6月シカン大消費者センチ(確) (欧)6月経済信頼感 (独)6月消費者物価(速) (仏)1-3月期GDP(確) (仏)5月消費支出 (英)1-3月期GDP(確)
30 5月製造業指数(8:50) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (欧)5月M3	7/1 6月日銀短観(8:50) 5月毎月勤労統計(10:30) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) (米)ISM製造業景気指数 (米)6月自動車販売台数 (欧・独・仏)6月製造業PMI(確) (独)6月失業率 (英)6月製造業PMI (豪州)金融政策委員会	2 6月マネタリーベース(8:50) 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) (米)5月製造業受注	3 (米)ISM非製造業景気指数 (米)5月貿易収支 (欧)ECB理事会 (欧・独・仏)6月サービスPMI(確) (欧)5月小売売上高	4 5月家計消費状況調査(14:00) (米)6月雇用統計 (独)5月製造業受注

(備考) 各種情報バンダー等にて作成。※印は期日が未定のもの。各指標の発表時期は変更される可能性があります。

○第一生命経済研レポートに関するご意見・ご要望は、keizai@dri.dai-ichi-life.co.jp までお寄せ下さい。

編集後記

このところの雇用関連データをみていると人手不足感が顕著だ。型枠工、鉄筋工といった建設技能労働者の不足が東北復興事業の足枷になっているという話は以前からあったが、足元ではサービス業全般で人手不足が叫ばれている。加えて異次元の金融緩和政策である。景気低迷の要因は需要不足であり、強力な金融緩和、思い切った財政出動で需要を刺激すれば低迷から脱却出来る・・・はずだが足元見えているのは供給力不足で思うような成長が出来ないリスクではないだろうか。

当然需要と供給はコインの表裏、一方を刺激すれば必ずもう一方にもその影響が現れるはずであり、デメリットを強調して早くにブレーキをかけてしまっただけでは元も子もない。ましてや供給力の強化、改善は時間がかかるものであり慎重にみていく必要もあるだろう。

しかし一方だけ強烈に刺激しておいてもう一方は放っておくようなことは出来ないだろう。今の日本経済にそれほどの時間が残されているとは思えない。海外投資家だけでなく日本の企業家が日本に投資をしようと思わせる政策が切れ目なく出てくることに期待したい。(H.S)